

令和5年度 学校法人 むかわ文化学園 むかわひかり認定こども園 園評価（自己評価）

評価 3：よくできている 2：まあまできている 1：あまりできていない 0：できていない

1 保育の計画性

	内 容	評価点
①	園の教育理念や教育方針を理解する	2. 3
②	幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、それをもとに保育計画を立てる	2. 1
③	日・月案は、園の方針、教育要領、教育課程、幼児の実態をもとに作成している	2. 5
④	クラスの保育・教育指導はクラス担任が十分話し合い、協働体制で取り組みをする	2. 4
⑤	幼児が主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をする	2. 1
⑥	季節の変化に応じた環境構成をする	2. 4
⑦	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をする	2. 2
⑧	自分の保育を評価し、反省して次の保育に生かす	2. 2
～主な成果（よくできたこと）～		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の実態をもとに段階を踏んだり、子どもの力に合わせた取り組みを考えながら、マット、跳び箱、平均台など運動遊びを取り入れ、楽しく体を動かすことができた。また、他の職員の協力を得ながら計画を立てていく事が出来た。 ・ 子ども達が元気に明るく、のびのび園生活を送れるように担任同士で一人一人の成長段階について話し合い計画（実施）することができた。 ・ 担任同士がよく話し合い、協働体制で取り組むことが出来た。 		
～課題（今後やるべきこと）～		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しを立てた上で、子ども達が考えて遊べるような環境づくりができれば良かった。 ・ 保育室の整理整頓は気にかけて行っていたが、もう少しこまめに行うことと、子ども達が好きな遊びを十分に楽しむことが出来るような保育室にしていきたい。 		

2 保育の在り方、幼児への対応（3～5歳児の担当者）

	内 容	評価点
①	朝の登園時は視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確認する	2. 6
②	幼児の話をよく聞き、言葉にならない思いや、サインを受け止めるよう心掛ける	2. 3
③	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛ける	2. 7
④	幼児を誉めたり、励ましたり、目あてをもたせるような言葉がけをする	2. 3
⑤	他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫、保育の形態を取り入れる	2. 0
～主な成果（よくできたこと）～		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の挨拶の際に必ず子どもの表情や、顔色を見ながら声をかけ、様子が気になった際には熱を測ったり、保護者や職員と連携をとりながら、子ども達の体調管理に努めるようにした。 ・ 一人一人の子どもの特徴を理解し、その子に合った対応を心掛け関わるようにした。 		
～課題（今後やるべきこと）～		
<ul style="list-style-type: none"> ・ たてわり保育の活動が再開され、前年度よりも異年齢児との触れ合う機会は増えたが、朝夕の合同保育の時間をもっと有効活用できると良かった。 ・ 流行り病が多く、異年齢児での触れ合いができないことも多かった。 ・ 一人ひとりへの言葉がけをもっと大切にしてスキンシップをとっていく。 		

3 保育の在り方、乳幼児への対応（0～2歳児の担当者）

	内 容	評価点
①	朝の登園時は視診を大切にして、乳幼児の健康状態を確かめる	2. 8
②	体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど、適切な処置を行いすぐに家庭に連絡する	2. 9
③	家庭と連絡をとりながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ食への意欲を育てる（0歳児）	2. 7
④	一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツ交換をしたり トイレに促している（1～2歳児）	2. 4
⑤	乳幼児の話をよく聞き、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう心掛ける	2. 6
⑥	月指導計画により、一人ひとりの乳幼児の発達課題について見通しをもって保育する	2. 7
<p align="center">～主な成果（よくできたこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の長所・短所を理解しその子に合わせた対応ができた。また、不安な気持ちの子には安心して過ごせるように対応した。 まだ上手く言葉や動作で気持ちが伝えられないため、優しく声を掛けたり、抱っこしながら、一つ一つのサインを丁寧に受け止められるよう関わった。 顔色や体調を確認して、その都度検温をし、変化があったときは、保護者へ連絡し様子を伝えることをきちんと行うことが出来た。 		
<p align="center">～課題（今後やるべきこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が楽しく食事ができるよう、その子に合わせた方法を見出しながら進めていく。 担任とは異なる立場として、子ども達の甘えや要求をどう受け止め、今後の成長に繋げていけるかを具体的に考えていく。 何度聞き返しても言葉や内容がわからなかった場合の対処方法をもう一度きちんと考え直していきたい。 		

4 保育者としての資質や能力、良識、義務

	内 容	評価点
①	保育をとおして保護者との信頼関係を築くよう努める	2. 6
②	保育時間外でも、保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がける	2. 6
③	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	2. 8
④	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全にも気をつける	2. 6
⑤	教育・保育業務を効率よく遂行するため、締め切りのある行事計画や会議等の提出物、会議や打ち合わせの時間をきちんと守る	2. 3
⑥	子どものこと、クラスの出来事などで必要な事は園長や主任に報告、連絡、相談する	2. 7
⑦	上司の指示、命令には責任を持って実行し、他の職員とコミュニケーションをとり、チームワークを大切にし対応する	2. 6
⑧	幼児の教育・保育に関する情報を日頃から得ようと努める	2. 3
<p align="center">～主な成果（よくできたこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育雑誌や研修に参加しながら、知識を深めることが出来た。 わからない事や、判断が難しい事案、また、保育について悩むことがあった場合は、自己判断せず、周りや上司の意見や判断を聞き、進めることが出来た。 常日頃から保護者とのコミュニケーションをしっかりと取り、挨拶を大切に言い、信頼関係を築くよう努めた。 		
<p align="center">～課題（今後やるべきこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育雑誌・関連本をよく読み、情報を得ながら、自分に足りないと思う知識を深めていく。 		

- ・報告、連絡、相談をしっかりと取り、職員とのチームワークを深める。
- ・提出物の締め切りに間に合わない時があるので、気を付けていきたい。

5 保護者への対応・守秘義務

	内 容	評価点
①	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝える	2. 6
②	普段から親しみを込めた挨拶や会話を心がけ、保育者として良識ある対応をする	2. 8
③	教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らさない	2. 9
④	保護者からの依頼や伝言等については、メモするなどきちんと対応する	2. 6
⑤	保護者からのクレームがあった場合は、謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談する	2. 8
<p align="center">～主な成果（よくできたこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔を忘れず元気な声で挨拶することを心掛け保護者が気持ちよく話ができるような雰囲気を作った。 ・常に会話を聞かれているという意識でいた。 ・良い事だけではなく、エピソードを交えながら、子どもの様子を伝えることで、家庭での様子も伝えてくれるようになった。 		
<p align="center">～課題（今後やるべきこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩みを相談されたときに、すぐ返答ができないこともあったので、知識を深めその場で答えられるようにしていく。 ・連絡帳の記入が中々できず、子どもの様子は直接保護者に伝えることが多く、記入することが少なかったため、今後は書いていきたい。 ・バス連絡や保護者からの伝言を伝え忘れることがあったので、忘れずにしっかり伝える。 		

6 地域の自然や社会とのかかわり

	内 容	評価点
①	園外散歩や公園の活用をとおして、地域の人々と親しく挨拶を交わす	2. 9
②	地域の自然や公共施設を指導計画の中で位置づけて活用する	2. 1
③	実習生や中高生の保育体験、ボランティアを受け入れるときは、親しみを込めた挨拶や会話を心がける	2. 6
④	保育・教育実習生には、園での実習が学び多きものになるよう、丁寧な指導を行う	2. 5
<p align="center">～主な成果（よくできたこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩などで園児に季節の移り変わりなどを体感させてあげることができた。また、地域の人たちに会った際は、元気に挨拶を交わした。 ・保育者としての前に、人として良識があり、魅力のある大人でいるよう研鑽する。 ・気持ちに寄り添う言葉がけに気を付ける。 		
<p align="center">～課題（今後やるべきこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園で遊ぶ際には、今の発達段階をよく考え、安全に楽しく遊ぶよう働きかけていく。 ・職場体験等で中高生が来園することが増えてきたので、保育に関してもう少しわかりやすく説明できるように心がけたい。 ・今後も公共施設を利用して、子ども達の経験、体験を行える環境作りを行っていきたい。 		

7 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

	内 容	評価点
①	研修会等には、目的意識を持って参加し、報告書は必ず提出する	2. 3
②	自分の保育については、自己課題を持ち計画や反省を行う	2. 3
③	園の遊具・教材の利用方法を知って、危険のないよう活用する 施設設備の安全確保及び子ども達の保育・教育の安全指導の取り組み（事故防止チェック：年4回）	2. 6
④	子どもを取り巻く様々な情報に関心を持ち、保育に役立てる	2. 4
⑤	子ども達の安心、安全に関する危機管理に興味や関心を持って取り組む	2. 6
<p align="center">～主な成果（よくできたこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年研修に参加出来ていなかったが、今年は参加することができ、手遊びや歌だけではなく、考え方なども学ぶことができ今後も積極的に参加したい。また、講義を通して自分自身の保育を見直すことができた。 ・安心・安全を心掛け、日々子ども達には危険がないよう危ない場所は伝えていった。 ・安全第一で保育することが出来た。 		
<p align="center">～課題（今後やるべきこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修になかなか参加出来なかったなので、参加できるものを探していきたい。 ・安全を確保することはできたが、のびのびと活動することが出来なくなってしまっているため、何か良い方法はないか学びたい。 ・保育助手という立場で、担任の指示待ちや受け身にならず、主体性を持ちコミュニケーションをとりながら、先々の行動を予測して動くようにする。 		

8 地域における子育て支援（子育て支援担当者）

	内 容	評価点
①	子育て支援事業について、利用者にパンフレットやおたよりでわかりやすく説明する	2. 0
②	親しみやすい雰囲気心がけ、利用者に積極的に声をかける	2. 3
③	講座等で子育ての学習の機会を設けて、親の支援ができる場を作る	2. 0
④	利用者同士の関係が作りやすいよう配慮して、遊びや場の設定する	2. 0
⑤	どの利用者にも公平に接する	2. 7
<p align="center">～主な成果（よくできたこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ制限がなくなり行事を毎月全員で行うことができ、楽しい時間を共有することができた。特に講師を迎えてのリズム遊びは大好評だった。 ・初めて来た方には、みんなの輪の中に入りやすいような声かけをすることが出来た。 ・行事ではサークルリーダーさんと共に話し合い、一緒に行事を進めることが出来たことで、より繋がりを深めることができた。 		
<p align="center">～課題（今後やるべきこと）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢の子ども達が来るので年齢に合った遊びを充実させ楽しい時間が過ごせるようにしていきたい。 ・0歳児の親子が楽しく遊べるような環境作りを心掛けたい。 ・保護者の方が来園するのに勇気が必要だったようなので、もっとわかりやすく周知し来園者を増やしたい。 		

むかわひかり認定こども園の教育・保育目標

- ・ 元気で明るい 子ども（体）
- ・ 思いやりのある 子ども（徳）
- ・ 自分で考え 行動する子ども（知）

〈 具体的な取り組み 〉

- 体・・・COT（コーディネーショントレーニング）、リズム遊び、散歩（歩く）、サッカー、園庭や公園での遊びや遊具の活用、プール活動等で丈夫な体を作る。
- 徳・・・たてわり保育、様々な行事（老人ホームの訪問や町内各種イベントの参加を含む）、友達との自由遊び、花や野菜の栽培、昆虫などの飼育等で思いやりの心を育てる。
- 知・・・英語、制作活動（粘土、工作、絵画等）、手遊び、歌やダンス、読み聞かせ、様々な玩具類の活用、町内めぐり、見学旅行、虫歯予防教室、食育教室、交通安全教室等で豊かな心を育てる。

1、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

「子ども子育て関連3法」に基づく「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から本格的にスタートし、本園では幼稚園教育要領・保育所保育指針と分かれた教育・保育要領を幼保連携型認定こども園教育・保育要領として一本化した。今年度は保育計画を随時見直しすることで指導方法の工夫・改善を図り実践してきており、継続した取り組みを進めたい。

2、外部指導者の招聘

今年度はサッカー教室、COT や英語などで、外部から講師を招き実践してきた。子ども達にとって、外部指導者からの専門的指導は大きな刺激となっていることから、今年度は初の試みでダンス教室を新たに取り組み、おゆうぎ会で披露している。

3、保育者会議

全保育者を対象とした保育者会議（月一回）を実践して7年目になる。翌月の行事の提案・検討や終了行事の反省、事故防止に向けた取り組みや各クラスの状況報告の他に研修時間も設定している。今年度は各種研修に参加した保育者は研修時間の機会を活用して報告、また、園内研修を設定し交流することでその成果を還元した。

また、保育者会議には資料を事前配付し、職員は目を通してから会議に臨むようにし、会議を効率よく実施しており、今後も続けていきたい。

※ 保育者会議の活性化を図るため、最低一人一発言を目標に取り組みを進めている。

（ 積極性や主体性は、園の活性化につながり、協働体制を創り出す ）

4、次年度にむけて

今年度の成果と課題を次年度に生かしていきたい。